

令和6年4月24日
208・209会議室

令和6年第8回 立川市教育委員会定例会

立川市教育委員会

令和6年第8回立川市教育委員会定例会

1 日 時 令和6年4月24日(水)

開会 午後 1時30分

閉会 午後 2時16分

休憩① 無

2 場 所 208・209会議室

3 出席者

教育長 栗原 寛

教育委員 石本 一弘

小柳 郁美

署名委員 伊藤 憲春

伊藤 憲春

堀切 菜摘

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長 齋藤 真志

学校施設建替担当課長 鈴木 信貴

指導課長 佐藤 達哉

統括指導主事 野津 公輝

学校給食課長 青木 勇

図書館長 黒島 秀和

教育総務課長 臼井 隆行

学務課長 澤田 克己

主任指導主事 片山 伸哉

教育支援課長 高橋 周

生涯学習推進センター長 庄司 康洋

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課庶務係 和田 健治

齋藤 綾乃

案 件

1 議案

- (1) 議案第 25 号 専決処分について（立川市学校給食運営審議会委員の任命について）

2 協議

- (1) 令和 6 年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」（案）について

3 報告

- (1) 立川市第 3 次学校教育振興基本計画の進捗（しんちよく）状況について
- (2) 立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について
- (3) 令和 5 年度教育委員会事業後援の概要について

4 その他

令和6年第8回立川市教育委員会定例会議事日程

令和6年4月24日

208・209会議室

1 議案

(1) 議案第25号 専決処分について(立川市学校給食運営審議会委員の任命について)

2 協議

(1) 令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について

3 報告

(1) 立川市第3次学校教育振興基本計画の進捗状況について

(2) 立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について

(3) 令和5年度教育委員会事業後援の概要について

4 その他

◎開会の辞

○栗原教育長 ただ今から、令和6年第8回立川市教育委員会定例会を開催いたします。

署名委員に伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 はい、分かりました。

○栗原教育長 よろしくお願いいたします。

本日は、議案1件、協議1件、報告3件でございます。その他は議事進行過程で確認いたします。

次に、出席者の確認を行います。齋藤教育部長、お願いいたします。

○齋藤教育部長 本日、第8回立川市教育委員会定例会への出席管理職でございます。教育部長、教育総務課長、学校施設建替担当課長、学務課長、指導課長、片山主任指導主事、野津統括指導主事、教育支援課長、学校給食課長、生涯学習推進センター長、図書館長、以上でございます。

◎議 案

(1) 議案第25号 専決処分について(立川市学校給食運営審議会委員の任命について)

○栗原教育長 それでは、1議案(1)議案第25号、専決処分について(立川市学校給食運営審議会委員の任命について)、を議題といたします。

青木学校給食課長、説明をお願いいたします。

○青木学校給食課長 学校給食課より、議案第25号、専決処分について(立川市学校給食運営審議会委員の任命について) ご説明いたします。

令和6年4月1日付の人事異動に伴い、新たに立川第五中学校の渋谷里美校長を立川市学校給食運営審議会委員に任命することについて、立川市教育委員会教育長事務委任及び代理規則第3条第1項の規定に基づき、専決処分するものでございます。

なお、任命されます委員の任期につきましては、前任者の残任期間となりますので、令和6年4月1日から令和7年10月30日までとなります。

以上となります。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。

この件についてはよろしいでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 質疑がないようでございます。

それではお諮りいたします。議案第25号、専決処分について(立川市学校給食運営審議会委員の任命について)、は提案のとおり承認することにご異議ございませんか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 異議なしと認めます。よって、1 議案 (1) 議案第 25 号、専決処分について (立川市学校給食運営審議会委員の任命について)、は承認されました。

◎協 議

(1) 令和 6 年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案) について

○栗原教育長 続きまして、2 協議 (1) 令和 6 年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案) について、に入ります。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 それでは、2 協議 (1) 令和 6 年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案) について、資料に基づきご説明いたします。

例年実施している業務ではございますが、趣旨や対象、令和 6 年度の進め方につきましてご説明させていただきます。

まず 1 番、趣旨でございます。点検・評価につきましては、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に規定されておりました、点検・評価をすることが義務付けられております。教育委員会が自ら教育行政についての点検・評価を行い、その結果を市議会や市民に報告することにより、開かれた行政と効果的な教育行政の一層の推進を図ることが趣旨でございます。

次に 2 番、点検・評価の対象につきましては、大きく分けて 2 つございます。1 つ目は教育委員会の運営や市長等との連携、研さん、視察の 3 つの活動についてでございます。2 つ目は、教育委員会所管の 4 つの個別計画から抽出した 19 の施策について、点検・評価を行うものでございます。

次に 3 番、実施方法でございます。①評価対象年度は令和 5 年度でございます。②令和 5 年度における活動と施策を対象といたしまして、成果と課題を総括し、次年度の方向性をお示しいたします。③点検・評価にあたっては、学識経験者であります点検・評価外部員 3 名との意見交換会を実施し、④その意見を踏まえた形で教育委員会において点検・評価を決定しまして、⑤その決定内容を令和 6 年第 3 回市議会文教委員会へ報告、また市のホームページでの公開を行うものでございます。

2 ページをご覧ください。

4 番、点検・評価の流れにつきましては、①～⑧までの記載のとおりでございます。

次に 5 番、評価の基準でございますが、各活動や施策の達成目標に対して達成度を S、A、B、C の 4 区分で評価するものでございます。

3 ページをご覧ください。

令和 5 年度分の点検・評価を行う活動と施策の一覧でございます。教育委員会活動に対しまして 3 項目、個別計画に対しまして 19 項目、合計で 22 項目となっております。

4 ページをご覧ください。

スケジュール案でございます。5月27日の第10回、6月14日の第11回定例会の2回で事務局で作成しました評価案についてご協議いただくとともに、教育委員の皆さまからのコメントを見ていただきまして、6月27日の第12回定例会で教育委員会としての点検・評価案を取りまとめたいと考えております。

その後、7月中に点検・評価外部員にお集まりいただき、意見聴取を行います。

8月9日の第15回定例会で、どのような意見があったのかをご報告いたしますので、それを踏まえて教育委員会において最終案をまとめていただき、8月28日の第16回定例会にて議案としてご審議いただくスケジュールを予定しております。

説明は以上となります。

○栗原教育長 説明ありがとうございます。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 今のご説明で明確だと思いますが、点検・評価は、誰にでも分かりやすく、どのように市が教育行政をやっているのかを説明をするという趣旨だったと思います。もし可能ならばですが、趣旨の文体を、もう少し、市民に親しみやすく、例えば、～を展開しているところである、というのを、展開しています、と書いてもいいのではないかと思います。その後の段落の2行目についても、教育行政が的確かつ有効に執行されているか、評価し検証していく取組が必要である、というのを、例えば、教育行政が的確で有効な取組が行われているかどうかを評価し検証していく、などのように、趣旨だけでもそのようにしていただけるとありがたいです。

例えば、子どもたちが興味を持って読むということもあるかもしれないですね。そういう意味でも、工夫がもし可能なら、というお願いでございます。

○栗原教育長 臼井教育総務課長、お願いいたします。

○臼井教育総務課長 ご指摘ありがとうございます。

点検・評価の内容につきましては、最終的には市のホームページでも公開されますので、石本委員のご指摘のとおり、読み手に児童、生徒もいらっしゃることも踏まえまして、できる限り分かりやすい内容に工夫してまいりたいと考えております。

以上です。

○栗原教育長 ご意見ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。

堀切委員、お願いいたします。

○堀切委員 例年みえていますし、趣旨と評価内容を理解はしているのですが、1番の趣旨のところ、2段落目に、市民の信頼に応える、とありまして、そのためには教育目標の意図がもう少し明確に伝わるような工夫があるといいかなと思いました。

例えば、身近なところでいいなと思ったのが、自分の子どもの学校なのですが、すこやかな子と書いてあって、それ自体はありきたりなのですが、横に括弧書きで、自分の体や心を

大切にし、進んで運動する子などと、定義が明確に書いてあります。そうすると、先生方もその価値軸で発信して下さって、教育活動の意図が理解できるので、評価とかがまだ定まらなかったり、効果が分からなくても信頼は得られると思います。

恐らく、AとSがたくさんつくのだらうと、評価する前から何となく分かって、それを見て、市民はAとSがたくさんついているから、市がすごくよくやってくれていると思えるかという、ちょっと難しいかなと正直思いました。

できれば、ですが、教育目標に掲げている、5つのひとつづくり、と言ってしまうと、多方面でとても遠い目標に向かっている感じがします。ですので、例えば一番上の項目を二重丸にして、あとの4つの項目は点にし、何が大事かということが分かるようにするのいいと思います。もしくは、生きる力というものを、具体的にはこう考えていますので今年度はここに重点を置きます、のような書き方をする、そうすることで、研修とか視察のテーマ等に一貫性ができたり、議論も深くなったり、いろいろな効果が考えられ、趣旨をより実現できるのではないかと思います。

以上です。

○栗原教育長 臼井教育総務課長、お願いいたします。

○臼井教育総務課長 ご意見ありがとうございます。

これから令和7年度以降の計画を立てる段階なのですが、堀切委員のおっしゃるとおり、強弱の部分については、計画の中で示す必要があると思っております。現在、私どもの持っている教育の計画においても、重点取組等が明確ではないという傾向があると考えておりますので、計画を立てる段階から、市民の方が市の教育行政はどこが重点なのか、もう少し分かりやすく伝わるような工夫をしてみたいと考えております。

ありがとうございます。

○栗原教育長 少し補足ですが、評価について、私どももSやAの評価がたくさん付けば、それに越したことはないのですが、割と自己評価が厳しめで、Bもございますし、Sが付くのは本当にわずかですね。最終的には、堀切委員にもご意見をいただいた中で評価を定めてまいります。自己評価を厳しめにしているところが特徴でございます。

ほかはいかがでしょうか。

小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 5番の評価の基準ですが、点検・評価表を見た時に、例えば、総合教育会議の実施回数が令和3年度3回、令和4年度3回と並んでいるような指標という欄があると思います。点検・評価表の中で唯一数字を見て分析できるのがこの指標だと思うのですが、例えば「きらり・たちかわ」を毎年4回発行しています、というのは変わらないわけで、そういうものを指標にするのではなくて、年ごとに変わっていくようなものを指標にしたほうがいいのではないかと、確か去年も申し上げました。これから点検・評価表を作成されると思うのですが、第3次基本計画等で指標が決まっているものは致し方ないと思いますが、今後もし新しく基本計画、推進計画が変わっていくのであれば、指標は多少の増減があるものを設定

したほうがいいのではないかなと思います。教育委員会の活動というのは、数字に出ないものももちろんあると思うので、難しいとは思いますが、数字を出せるものは指標として出してもらったほうが、市民も分かりやすく、評価しやすいと思います。あまり変わらないものを数字で出してもらっても、評価はなかなか難しいので、ぜひご検討をお願いいたします。

以上です。

○栗原教育長 小柳委員からのご意見です。先ほど臼井教育総務課長が申し上げたとおり、次の学校教育振興基本計画を今年度は策定する時期になります。計画と点検・評価はもちろん連動しておりますので、今のご意見も考慮した中で、指標も活動の指標と、あと成果の指標があると思いますが、定量化できるものは定量化した指標を設定できればと考えております。

よろしいでしょうか。

○小柳委員 はい。

○栗原教育長 ほかはいかがでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 ほか質疑はないようでございます。

それではお諮りいたします。協議(1)令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について、でございます。石本委員から分かりやすい表記でというご意見がございました。そういったご意見を一部反映できるように考えておりますが、内容はこの内容でご承認いただくということではよろしいでしょうか。

[「異議なし」との声あり]

○栗原教育長 ありがとうございます。それでは、異議なしと認めます。よって、2 協議(1)令和6年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」(案)について、は承認されました。

◎報 告

(1) 立川市第3次学校教育振興基本計画の進捗状況について

○栗原教育長 続きまして、3 報告(1)立川市第3次学校教育振興基本計画の進捗状況について、に入ります。

臼井教育総務課長、説明をお願いいたします。

○臼井教育総務課長 それでは、3 報告(1)立川市第3次学校教育振興基本計画の進捗状況について、資料に基づきご説明いたします。

立川市第3次学校教育振興基本計画の進捗状況につきましては、過去2回の定例会でご協議いただきました。前回第7回の定例会で、資料を開けていただきまして、1 ページ表の一番右の列、現状と課題と今後の事業予定の記載につきまして、課題が明確に記載されていない取組項目が散見されるというご指摘がございましたので、課題となる部分分かるように再度修正を加えました。修正を加えた箇所につきましては下線を引いてお示ししております。

説明は以上でございます。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、ご質疑をお願いいたします。

今日はあくまでも2回の協議を踏まえた上での報告ということにしておりますが、資料を見ていただいて、今、臼井教育総務課長から説明があった表の一番右側の現状の課題の部分は、課題を分けて記載をするようにというご意見がありましたが、この書きぶりでも違和感や、こうしたほうがいいのではないかとのご指摘がございましたら、それでも結構でございますのでご意見をいただければと思っております。

皆さん、よろしいでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 質疑はないようでございます。それではこれで3報告(1)立川市第3次学校教育振興基本計画の進捗状況について、の報告及び質疑が終了いたします。

なお、この資料については、次の学校教育振興基本計画等の策定の時に、検討委員会の中で資料等にしたいと思っております。よろしくをお願いいたします。

ありがとうございました。

◎報 告

(2)立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について

○栗原教育長 続きまして、3報告(2)立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について、に入ります。

佐藤指導課長、説明をお願いいたします。

○佐藤指導課長 それでは、立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案について、ご報告いたします。

中学校の部活動は生徒のスポーツ、文化芸術に親しむ機会を確保する等、大きな役割を担ってきましたが、少子化の進展や、専門性や意思に関わらず教員が顧問を務める、これまでの学校部活動の体制継続が難しい状況になっております。スポーツ庁、文化庁は、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を令和4年12月に策定し、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方や新たな地域クラブ活動を整備するための必要な対応を示しました。

これを受け、東京都は、「学校部活動の地域連携・地域移行に関する総合的なガイドライン」及び「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」を令和5年3月に策定し、市区町村においては、東京都の推進計画を参考に部活動の地域連携・地域移行に取り組み、生徒にとって魅力あるスポーツ・文化芸術活動を確保するとともに、教員の負担軽減につながる取組を推進することを示しました。

この素案では東京都の推進計画等を参考に市立中学校における部活動に関する課題の解決を図り、市の実態に合った地域連携・地域移行を実現するため、令和7年度末までの改革推進期間等における市の取組の方向性を示し、市立中学校の部活動の地域連携・地域移行を推

進することを目的としております。今後、この素案についてパブリックコメントを実施する予定でございます。

計画策定のスケジュールです。令和6年4月から6月にかけて計画素案を、まずは本日の教育委員会定例会で報告させていただき、その後、市長をトップとする庁内会議、市議会文教委員会に順次報告します。6月から7月ごろにかけて計画素案に対するパブリックコメントを実施し、市民の皆さまの意見を聞き、8月から9月にかけて教育委員会定例会、庁内会議、市議会文教委員会に計画原案を報告し、令和6年9月ごろに計画を決定する見込みとなっております。

説明は以上となります。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえ、質疑をお願いいたします。

伊藤委員、お願いいたします。

○伊藤委員 ご説明ありがとうございます。

本当に細かいところまで、こういう問題もあるんだ、お金の問題などいろいろなところが分かるように書いてくださっているのはありがたいです。ですが、どうしても副校長先生の負担が多くなるのではないかなという気がしますので、負担をうまく少なくできるように、よろしくお願ひしたいです。

○栗原教育長 伊藤委員、ありがとうございました。

外部人材の活用等においても、学校内でコーディネートをするということになると、伊藤委員がおっしゃったとおり、副校長先生がそういった役目を担わざるを得ないだろうということも見られます。そういったことも考慮した中で地域移行・地域連携を進めていきたいと思っております。

ありがとうございました。ほかはいかがでしょうか。

小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 意見です。11ページの(5)の②ですが、地域クラブ活動での指導を希望する教員が円滑に兼職兼業の許可を得られるようということですが、地域クラブ活動の指導を希望する先生に対する給与システム等は、もう出来上がっているのかというのが質問の1つ目です。もう1つは、11ページの(4)の①で、なお、経済的な理由で地域クラブ活動への参加をあきらめる生徒が出ないよう支援については展開を検討しますということなのですが、何か決まっていることがありましたら教えてください。

○栗原教育長 二点ご質問をいただきました。佐藤指導課長、お願いいたします。

○佐藤指導課長 まず一点目の質問でございます。

円滑に兼職兼業の許可を得られるようという部分でございますが、現在部活動の指導において、教員の中には積極的に部活動の指導を行いたいと考えている先生もおりまして、そういった先生方の参加をまず拒むのではないという部分と、休日であることを踏まえて、公務員は基本的には兼職兼業ができませんが、届け出を経たうえでであればできるという制度を整

えていく必要があるといった部分の捉えでございます。

ただ、指導に対する給与体系、報酬等については、今後検討していく、また国や都の動向を見つつ判断をしていく内容になると考えております。

二点目の質問でございます。

経済的な事情により、という部分ですが、先ほどのご説明と重なる部分がございます、市としてどういった補助ができるのかというところは、国や都の動向を見つつ、どういった支援ができるのか今後検討していく必要があると思っております。

民間団体が実施した調査等によると、年間で、いわゆる受益者負担、家庭が負担する額として1万円ないし2万円お金がかかるといった試算も出ております。ただ、実際どれだけかかったというところは、また今後調査していく必要があると思っております。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 ご解答ありがとうございます。これから決まっていくということで、承知しました。

最後に意見なのですが、14ページの最後、改革推進期間における主な取組のスケジュールなのですが、これだとToDoリストのようなになってしまっているのかなと思います。スケジュールであれば令和6年の何月ぐらいにこれをやるとか、令和7年の何月ぐらいに何やるとか、もし決まっているのであれば、詳細があったほうがいいのかと感じました。

決まっていなければ、仕方ないと思うのですが、多少のめどがたっているのであれば、少し細かいほうがいいのかと思います。

以上です。

○栗原教育長 ご意見ありがとうございます。

本来であれば、そういう示し方ができればいいのですが、部活動の数も、中学校9校に運動系、文化系、多数ありますので、明確にスケジュールを年度より細かく示すということがなかなか難しく、こういった形になっております。

東京都の計画も同じような令和6年～7年の表記になっており、それに倣ったスケジュール（予定）としております。

ご意見をありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 素案を読ませていただいてまず感じたのは、とても読みやすく分かりやすい表記を心掛けてくださって、どれも表紙をめくると読んでみようかなという雰囲気、角が丸くなっただけでこれだけ違うんだと思いました。書かれている文体自体も読みやすく、それこそ中学生だったら十分読みこなせる表記になっていますし、小学生だって読めるのではないかなというふうに思いました。ご努力に感謝したいと思います。

すみません、一点だけ、11ページの(4)の①の本文の4行目、公正かつ適切な会計処理を行い、の部分、ここだけ文章が堅いなど私は感じて、公正で適切な会計処理、でいいのではないかと思います。もしなるほど思っていたら、少し工夫していただけると

ありがたいです。全体の出来がとても素晴らしかったので、感じました。

以上です。

○栗原教育長 ご意見と、指摘事項について、内部でどう対応するか考えさせていただきたい
と思います。

ご意見ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 ほかないようでございます。

これで3 報告 (2) 立川市立中学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画素案につ
いて、の報告及び質疑を終了いたします。

◎報 告

(3) 令和5 年度教育委員会事業後援の概要について

○栗原教育長 続きまして、3 報告 (3) 令和5 年度教育委員会事業後援の概要について、に入
ります。

庄司生涯学習推進センター長、説明をお願いいたします。

○庄司生涯学習推進センター長 それでは令和5 年度教育委員会事業後援の概要につきまして、
生涯学習推進センターより報告いたします。

教育委員会事業後援につきましては、立川市教育委員会事業後援規程により、各種事業を
後援する基準及び手続きについて定めております。

資料に基づき説明させていただきます。

資料の1 ページ目、1、概要でございます。令和5 年度の1 年間で申請件数は合計109 件で
ございました。

2、申請事業後援実績の有無でございます。実績があるものが85 件、新規申請が24 件で
ございました。

3、申請事業の承認の可否でございますが、全ての申請について承認をしております。

なお、このほかに申請時にご相談、お話をいただいて、結果的に申請に至らなかったケー
スもございます。例えば、営業活動に直結するものなどにつきましては、お話の中でお断り
をさせていただいております。

4、申請事業の事業分野でございます。社会教育、体育及びレクリエーション、家庭教育、
文化など、分野ごとに内訳を掲載させていただいております。

5、申請事業の対象者の大まかな内訳でございます。一般、子ども向け、子どもを含めた親
子向けの3 つに分けて内訳を示させていただいております。

6、申請団体、種別の内訳を掲載させていただいております。

2 ページ目でございます。過去5 年間の経年変化を可視化して、棒グラフ化してお示し
させていただいております。令和5 年度はほかの社会教育活動や生涯学習活動と同様、コロナ
禍前の状況にまで近づいてきてございます。

3ページにつきましては、令和5年度に新規承認した24件の内訳となっております。

以上、簡単ではございますが令和5年度の教育委員会事業後援概要でございます。

以上でございます。

○栗原教育長 説明ありがとうございました。これより質疑に移ります。説明内容を踏まえご質疑をお願いいたします。

石本委員、お願いいたします。

○石本委員 お尋ねです。

4の事業分野の学校教育という分野があつて、5件ありますけれども、ほかの分野は、想像がつくのですが、どんな活動をされているところなのかを教えてください。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長、お願いいたします。

○庄司生涯学習推進センター長 3ページをご覧くださいますと、右から2番目の分野に、学校教育と示しているものが3件ございます。

例えば上から9つ目の東京都図画工作研究会、10番目の公益財団法人日本極地研究振興会、下から5つ目の東京都小学校放送教育研究会が学校教育ということでございます。

直接的に学校教育に資するもの、例えば上から9つ目の東京都図画工作研究会などは、立川市が幹事市で、図画工作の研究大会を一小で行いました。その発表で、学校の先生たちが一堂に会して研究発表を行ったということでございまして、学校教育に直結するものでございました。

下から5つ目の小学校放送教育研究会も同様でして、松中小学校に放送を担当する先生方が一堂に会して立川市を主会場として研究発表を行ったというものでございまして、そういったものを学校教育という分野として挙げてございます。

ほかにも新規ではなくて、通常にやっているようなものも含めて、このような事例が学校教育の分野として挙げているものでございます。

以上でございます。

○栗原教育長 ほかいかがでしょうか。

小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 質問が二点あります。

一点は先ほど説明していただいたのですが、営業活動があつて申請に至る前に落ちてしまったものが何件ぐらいあったのでしょうかというのが質問の一点目です。

もう一点が、3ページに、いろいろなイベントが載っていますが、実際私も子どもと一緒に参加したイベントがいくつかあります。こういったイベントに何人来たかというデータはあるのでしょうか。

以上2点です。

○栗原教育長 庄司生涯学習推進センター長、お願いいたします。

○庄司生涯学習推進センター長 一点目でございます。

相談ですけれども、まず、電話でそういった申請をしたいという件数は結構ございます。

担当のレベルでお断りをしていますので、何件あるかというのは把握してございませんけれども、数件ではなく、相当、それなりの件数がございます。

もう一点は、例えば事業後援いただきたいと窓口に来る方の中で、やはり営業活動であったということで、担当から報告があったのは確か3~4件だったと思います。

あと、二点目の質問ですけれども、申請を受けた実績報告というのをいただいております。3月直近で実施したものはまだ報告があがってきていないものはございますけれども、実績あるいは参加数、あるいは効果がどうであったとか、事業自体が決算報告を含めていただくルールになってございますので、データは持ち合わせております。

○栗原教育長 小柳委員、お願いいたします。

○小柳委員 ご説明ありがとうございます。

このイベントで何人来ているかというデータが市役所にあれば、市役所でいろいろなイベントを企画されていると思うのですが、どんなイベントに人が来るかとか、そういったデータにもなると思ったので伺いました。

以上です。

○栗原教育長 ありがとうございます。ほかはいかがでしょう。

庄司生涯学習推進センター長、お願いいたします。

○庄司生涯学習推進センター長 少し補足でございますけれども、イベントに関してですが、あくまでも、立川市の事業後援をさせていただいているのですが、市外の事業もこの中には事業後援ということで名前貸しという意味で、ほかの教育委員会と合わせて市外の事業も後援しているケースがございます。ですので、立川市の中での事業ではなくて、市外でやっている事業も事業後援をさせていただくケースもございますので、ご理解いただければと思います。

以上です。

○栗原教育長 ほかいかがでしょう。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 ほかないようでございます。これで3報告(3)令和5年度教育委員会事業後援の概要について、の報告及び質疑を終了いたします。

次にその他に入ります。その他はございますでしょうか。

[「ありません」との声あり]

○栗原教育長 その他はないようでございます。

◎閉会の辞

○栗原教育長 それでは、次回の日程を確認いたします。次回第9回定例会は、令和6年5月14日火曜日13時30分から、208・209会議室で開催いたします。

これをもちまして、令和6年第8回立川市教育委員会定例会を終了いたします。ありがとうございました。

午後2時16分

署名委員

.....

教育長